

## こんにちは



### 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究 科自然系教育講座 國仙研究室を訪ねて

#### 〈はじめに〉

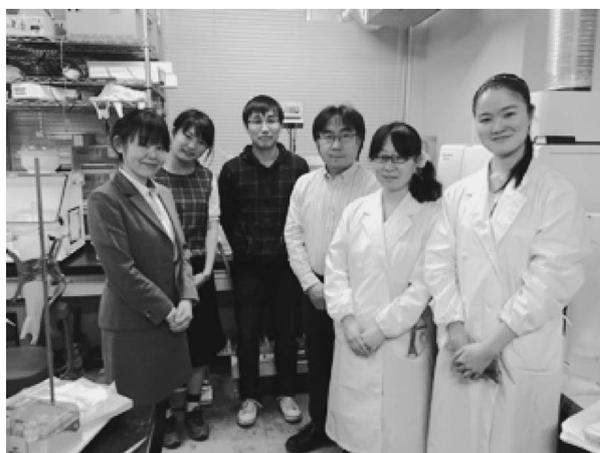
東京学芸大学は東急線の学芸大学にあるのではないことをご存じだろうか。4月17日、午前中の講義を終え町田から小田急線に乗り登戸でJR南部線に乗り換えた。人生初の南部線。立川でJR中央線に乗り換え十数分。全行程1時間ほどで武蔵小金井駅に着いた。筆者の職場から意外と近いことに驚きながら、國仙先生がメールで教えてくれた通りにバスに乗り、学芸大正門前で降りた。「正門前」なので正門があるかと思っていたが、それらしき人に付いて道路を渡ったところに「東京学芸大学」と記された大きな表札（看板?）。着いた!と思った瞬間残念な思いに苛まれた、「あと1週間早ければ…」それは見事な桜並木である。後で聞いた話では、小金井市でも有名な桜の名所で一般の方々も花見をされるとのこと。満開の桜並木をくぐって入学する新生にとっては一生の思い出になるだろう、などと考えつつ並木道に入ると両脇は一般の住宅。校内であって校内でない、不思議な桜並木を抜けたところに守衛室のある正門があり、國仙先生が迎えにきてくれていた。正門に入って直ぐにも桜並木が左右に広がり、ここも先に出てきた桜並木同様、小金井市の桜の名所だそう。広い空間の右側に図書館、左側が今日訪ねる國仙研究室がある自然科学1号館である。「国立の総合大学はやっぱり広いね」と言う筆者に「ここは単科大学だよ」と國仙先生。そうである、ここは将来の教諭を育成する単科大学なのである。「国立大学法人東京学芸大学」これが現在の正式名称であるが、明治6年に設立された「東京府小学教則訓練所」が始まりである。これはその後「東京第一師範学校」となるが、昭和24年にその他5校の師範学校と共に「東京学芸大学」が設立されている。日本が近代国家になった頃から教員養成に特化した由緒正しき大学で学ぶ、理系に進学する（かもしれない）生

徒を育ててくれる先生の卵達。どんな研究しているのだろうか。そしてどんな研究室ライフを送っているのだろうか。

#### 〈研究室アラカルト〉

國仙研究室は教授である國仙久雄先生を筆頭に、修士1年生1名、学部4年生4名の総勢6名で構成されている。出身地も北海道、新潟、埼玉、神奈川、東京と実に様々である。研究室配属は3年生の7月に学生が集まって話し合いで決めるという。話し合いが決裂した時だけ教員が口を出すのだそう。実に民主的な決め方である。教授室兼学生居室の直ぐ隣に実験室が有り、使い勝手のよい配置の研究室である。他の研究室に比べても恵まれた環境であるとのことだ。主な研究テーマは「金属の分離捕集剤の開発」。溶媒抽出用試薬を固体担体に吸着または化学結合させることで、より分離能にすぐれ、分離効率の良い捕集剤の開発に日々取り組んでいる。一人暮らしをしている学生が多いのでコアタイムは設けず、生活・研究のスケジュール管理は本人に任せ、危ない作業以外は学生だけでできるように指導をしているとのこと。失敗したらもう一度やる、研究が進んできたら自分で考えるなど、受身でない研究を目指しているようだ。その間にも4年生は5月末から6月の1ヶ月間と、9月から10月のひと月間に教育実習があるという。最後の学年は卒業研究だけという他学部と大きく違い、とてもタイトなスケジュールをこなしながら学生さん達は、2月のバレンタインデー辺りに開催される卒業研究発表を目指して日々研究に邁進している。卒業研究発表で面白いことを教えてくれた。「発表の順番は有機・無機・物理化学がじゃんけんで決めます」とのこと。これもまた民主的である。

必ず守っている二つの行事があるというので聞いてみた。「研究生活開始初日は飲み会をする」と「卒業研究発表前日には飲み会をする」。発表前に飲み会?國仙先



写真：実験室にて國仙久雄先生（右から3番目）、学生さんと筆者（左端）

生によると「そのくらいの余裕をもって研究をしなければいけない」というポリシーだそうだ。確かにその通り、と妙に筆者も共感した。ちなみに聞いてみた。「発表会の後は?」「もちろん打ち上げで飲む」。予想どおりのレスポンスであった。

國仙先生と対談中数人の学生さんが入ってきた。所属の学生はノックをせず、外部者と区別をしているという。入ってくるとみなさん「こんにちは」と礼儀正しく挨拶をしてくれた。大学自体の風潮が國仙先生の教育の賜かは不明であるが、爽やかなイメージがとても印象的な学生さん達であった。最後に進路を聞いてみた。教員が最も多いが、進学や一般企業への就職もあるとのこと

であった。

## 〈さいごに〉

実は筆者と國仙先生は十数年位の知り合いであるが、筆者の夫と國仙先生は「分析化学若手の会」の頃からの友人である。その縁で今回も早く取材に応じてくださった。お忙しい中時間を割いてくださった、國仙先生、研究室の学生さん達、写真撮影をして下さった隣の研究室の先生に厚く御礼を申し上げたい。取材の最後は打ち上げである。國仙先生、ごちそうさまでした。

〔昭和薬科大学 鈴木憲子〕

## 日本分析化学会研究懇談会の御案内

日本分析化学会の研究懇談会に入会御希望の方は下記に照会ください。

- ① ガスクロマトグラフィー研究懇談会
- ② 高分子分析研究懇談会
- ③ X線分析研究懇談会
- ④ 液体クロマトグラフィー研究懇談会
- ⑤ 分析試薬研究懇談会 (旧有機試薬研究懇談会)
- ⑥ 有機微量分析研究懇談会
- ⑦ 溶液界面研究懇談会 (旧非水溶媒研究懇談会)
- ⑧ 化学センサー研究懇談会
- ⑨ 電気泳動分析研究懇談会
- ⑩ イオンクロマトグラフィー研究懇談会
- ⑪ フローインジェクション分析研究懇談会
- ⑫ 環境分析研究懇談会
- ⑬ 表示・起源分析技術研究懇談会
- ⑭ 熱分析研究懇談会
- ⑮ レアメタル分析研究懇談会
- ⑯ 溶液反応化学研究懇談会
- ⑰ 受託分析研究懇談会
- ⑱ 電気分析化学研究懇談会
- ⑲ ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会

### ◇照会先

- ①②④：〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号 (公社)日本分析化学会 [電話：03-3490-3351, E-mail: kondankai-hp@jsac.or.jp]
- ③：〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪府立大学大学院工学研究科 辻 幸一 [電話・FAX：06-6605-3080, E-mail: tsuji@a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp]
- ⑤：〒812-8581 福岡市西区元岡744 九州大学大学院工学研究府応用化学部門 (分子) 片山佳樹 [電話：092-802-2850, E-mail: ykatatcm@mail.cstm.kyushu-u.ac.jp]
- ⑥：〒468-8503 名古屋市天白区八事山150 名城大学薬学部分析センター 酒井達子 [電話：052-839-2703, E-mail: tsakai@meijo-u.ac.jp]
- ⑦：〒560-0043 豊中市待兼山町1-1 大阪大学大学院理学研究科化学専攻分析化学研究室 塚原 聡 [電話：06-6850-5411, E-mail: sxt@chem.sci.osaka-u.ac.jp]

- ⑧：〒559-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 大阪府立大学大学院工学研究科 久本秀明 (電話：072-254-9285, E-mail: hisamoto@chem.osakafu-u.ac.jp)
- ⑨：〒501-1196 岐阜市大学西1-25-4 岐阜薬科大学機能分子学大講座薬品分析化学研究室 江坂幸宏 [電話：058-230-8100 (内線3640), E-mail: esaka@gifu-pu.ac.jp]
- ⑩：〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1 近畿大学工学部 伊藤一明 [電話：082-434-7000 (内線328), E-mail: itok@hiro.kindai.ac.jp]
- ⑪：〒819-0395 福岡市西区元岡744番地 九州大学大学院工学研究院応用化学部門 石松亮一 [電話：092-802-2891, FAX：092-802-2889]
- ⑫：〒192-0392 八王子市堀之内1432-1 東京薬科大学生命科学部 梅村知也 [電話：0427-676-6768, E-mail: tumemura@toyaku.ac.jp]
- ⑬：〒120-8551 東京都足立区千住旭町5 東京電機大学工学部環境化学科内 保倉明子 [電話：03-5284-5445, E-mail: hokura@mail.dendai.ac.jp]
- ⑭：〒305-8563 つくば市梅園1-1-1 中央第3産業技術総合研究所 津越敬寿 [電話：029-861-4023, E-mail: tsugoshi.takahisa@aist.go.jp]
- ⑮：〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304 (公社)日本分析化学会事務局 [E-mail: rare\_metals@jsac.or.jp]
- ⑯：〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1 福岡大学理学部化学科内 山口敏男 [電話：092-871-6631 (内線6224), E-mail: yamaguch@fukuoka-u.ac.jp]
- ⑰：〒105-0012 東京都港区芝大門2-4-6 豊国ビル1F (一財)日本食品検査 中田邦彦 [電話：03-3438-2811, E-mail: k\_nakata@jffc.or.jp]
- ⑱：〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1 京都工芸繊維大学大学院 前田耕治 [電話：075-724-7523, E-mail: maedak@kit.ac.jp]
- ⑲：〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学大学院工学研究院 渡慶次 学 [電話：011-706-6744, E-mail: tokeshi@eng.hokudai.ac.jp]